

2017年4月10日
シーメンス株式会社

シーメンス、クラウドベースの 産業用オープン IoT オペレーションシステム 「MindSphere (マインドスフィア)」の提供開始

- MindSphere のベータ版を 4 月より日本でも提供開始
- 専用ゲートウェイ MindConnect Nano (マインドコネクト・ナノ) が装置や工場を MindSphere と接続
- 業界の垣根を越えて IoT 関連の新しいビジネスモデル構築を促進できるプラットフォーム

シーメンスはこのたび、クラウドベースの産業用オープン IoT オペレーションシステム「MindSphere」の実証試験フェーズを順調に完了し、4 月より日本でもお客様へのご提供を開始します。当面はベータ版のリリースですが、継続的に開発を進めてまいります。MindSphere は、幅広い分野の事業会社が予防保全、エネルギーデータ管理やリソースの最適化などの領域でデジタルサービスの基盤として用いることができる、オープンなエコシステムとして設計されています。とりわけ機械メーカーやプラント建設業においては、サービスの目的で全世界の機械や設備をモニタリングしたり、ダウンタイムを減らしたり、最終的には新しいビジネスモデルを提供することも可能となります。また、MindSphere はシーメンスのデータベースサービスも担っており、たとえば、工作機械の予防保全 (Machine Tool Analytics) や統合型ドライブシステム (Drive Train Analytics) などがあります。

どの分野の製造業であれ、装置や設備、プラントを MindSphere につなげるために、シーメンスは産業用ゲートウェイの「MindConnect Nano」を提供します。これは実証試験で得た経験を生かして開発に至ったものです。MindSphere につなげるためのその他のオプションには、ソフトウェアの仲介をするソフトウェア開発キット (Software Development Kit) や産業用オートメーションシステム Simatic との統合などがあり、いずれも将来的に市場投入していきます。



MindSphere 概念図

詳しい情報は以下の Web サイトをご覧ください。

www.siemens.co.jp/mindsphere

報道機関からのお問い合わせ先:

シーメンス株式会社 コミュニケーション部 中川

TEL: 03-3493-5022

E-mail: rie.nakagawa@siemens.com

■ シーメンス AG について

シーメンス AG (本社: ベルリンおよびミュンヘン) は、165 年以上にわたり、卓越したエンジニアリング、イノベーション、品質と信頼性、そして国際性を象徴するグローバル企業でありつづけています。電化、自動化、デジタル化の分野を中心に、世界 200 カ国以上で事業を展開しています。シーメンスはエネルギー効率に優れた省資源技術を世界で最も多く提供している企業のひとつであり、洋上風力発電の建造においては世界一、コンバインドサイクル発電ではタービンの主要サプライヤー、送電ソリューションでは大手プロバイダー、そしてインフラストラクチャー・ソリューションならびに産業向け自動化ソリューションとソフトウェア・ソリューションのバイオニアです。さらにシーメンスは、コンピュータ断層撮影装置 (CT) や磁気共鳴画像診断装置 (MR) などの医用画像診断装置の大手サプライヤーでもあり、臨床検査および医療情報 IT のリーダーでもあります。2016 年 9 月末に終了した 2016 年度において、継続事業の売上高は 796 億ユーロ、純利益は 56 億ユーロでした。2016 年 9 月末時点の全世界の社員数は 35 万 1,000 人です。詳しい情報は、www.siemens.com にてご覧いただけます。

■ 日本におけるシーメンスグループ

シーメンスは、1887 年に東京・築地に初めてのオフィスを開業して以来、128 年にわたり日本のお客様から信頼を寄せられるパートナーとして尽力してまいりました。海外のシーメンス同様、都市化、人口動態、気候変動、グローバル化、そしてデジタル化といったメガトレンドに対して最適なソリューションをご提案しています。シーメンスは先進的な製品やサービス、ソリューションにより、お客様に競争優位性をご提供しつづけるとともに、昨今の環境問題に対応してまいります。2016 年 9 月末に終了した 2016 年度において、日本のシーメンスの売上高は約 1440 億円、社員数はおよそ 2,000 人です。詳しい情報は www.siemens.co.jp にてご覧いただけます。